

8月1日運用開始

地域を守る

# 消防署大曲出張所移転



消防署大曲出張所・消防団第3分団詰所が移転しました。

## 移転の経緯

旧消防署大曲出張所は昭和55年に建てられました。当時の大曲・西部地区の人口は、約1900世帯・6000人で、現在では人口が約8800世帯・2万3000人と、当時の約4倍に増加しています。

庁舎は建設当時の人口に合わせた造りのため、老朽化や敷地が狭いなどの課題を抱えていました。人口増加や大型商業施設の進出で交通量が増え、出勤の妨げになり交通渋滞の解消が急務でした。

今回の移転で出勤の際リスクが最小限に抑えられます。また新たな庁舎は多機能化により、地域住民の安心安全な生活に貢献できると考えています。

## 地域の防災拠点として

自家発電設備を備える事により、災

害時などの長時間停電にも、対応できます。

また地元消防団の活動拠点としてのスペースも確保され、訓練や歳末警戒など、日頃の警戒活動に適した施設としました。

## 新庁舎の施設概要

鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積約2800㎡で副訓練棟を含めた建築面積は約890㎡です。

### ①自家発電設備の設置

停電時において、通信機器などの設備が使用でき、災害に強い施設としました。

### ②救助訓練棟の設置

全国消防救助技術大会の指針に基づいた施設を設置し、多様な災害・救助活動に対応する訓練が、可能となりました。高さ約10mからロープを使って降りる実践的な訓練なども、行うことができます。





- ③ 照明のLED化  
節電や環境に配慮した設備です。
  - ④ 車両排気ガス強制排出装置の設置  
車庫内で点検や整備を行う際、排気ガスを強制的に屋外に排出する装置を設置し、排気ガス吸入などの事故を防止する設備としました。
  - ⑤ オストメイト対応トイレの設置  
非常時には住民対応可能な施設としました。
  - ⑥ 仮眠室個室化でプライバシーの確保  
24時間勤務する職員の執務環境を整えました。
- 今後市民のみならず、安全で安心して暮らせるまちを目指して、消防活動の充実、強化に努めていきます。

施設名	消防署大曲出張所・消防団第3分団詰所		
所在地	大曲2-8		
施設構造	鉄筋コンクリート造2階建		
施設規模	敷地面積	2,775㎡	
	建築面積	庁舎棟 445.10㎡	副訓練棟 41.84㎡
	1階床面積	432.55㎡	32.90㎡
	2階床面積	397.02㎡	23.97㎡
	床面積合計	829.57㎡	56.87㎡
	延床面積(庁舎棟+副訓練棟)	886.44㎡	
施設内容	○庁舎棟：事務室、仮眠室、消防団事務室、防火衣庫、車庫、洗浄物品庫、電気室、ホース乾燥塔ほか ○訓練棟：ロープ登はん、はしご登はん ○副訓練棟：ロープ渡過訓練施設、訓練用連結送水管		



大曲地区連合町内会会長  
麻生昌裕さん  
(大曲緑ヶ丘)

### 安心して暮らせますね！

私が住んでいる大曲も、旧消防署大曲出張所庁舎ができた時代とは、人口もまちの規模も大きく変わりました。大型商業施設もできて、昔とは比べようのない多くの交通量となりました。火災や事故の際に支障を来さなければ良いと思っていました。今回新庁舎ができたことにより、各地区にも行きやすくなり、今まで以上に安心して市民が生活ができるのは何よりですね。

